

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立日新小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（ 89 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層がやや少ない。
平均正答率（本校 72.9／泉佐野市 69.5／大阪府 71.3／全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 53.9／泉佐野市 52.4／大阪府 55.4／全国 57.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【言語についての知識・理解・技能】 ○漢字の読み方については概ねできている 1ー(2) お年玉を貯金する (98.9/98.5) 1ー(3) むだを省くようにする (80.9/81.0) ○漢字の書き取りについては概ねできている。 1二(1) アサガオのたねをまく (92.1/87.5) 1二(2) したいしい友人と出かける (73.8/76.5) 1二(3) 先生にそうだんする (74.2/64.2) ○平仮名で表記されたものをローマ字で書くことに課題がある。 8 「あさって」をローマ字で書く。(46.1/41.8)</p> <p>【読む能力】 ○目的に応じて、図と表とを関係付けて読むことは概ねできている。 5 公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する。 (89.9/93.1)</p>	<p>○登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることに課題がある。 6 「おばあさんの飛行機」を読んで、登場人物の人物像を説明するために根拠となる表現として適切なものを選択する。(57.3/63.9)</p> <p>【言語についての知識・理解・技能能力】 ○用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めることは概ねできている。 7 毛筆で書いた(一)と(二)を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する。 (85.4/81.2)</p> <p>【書く能力】 ○目的や意図に応じて、書く事柄を整理することが概ねできている。 4 委員会を紹介するパンフレットを作るため、追加の取材をした理由として適切なものを選択する。 (79.8/78.2)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【読む能力】 ○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことは概ねできている。 3ー「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する。(78.7/77.2) ○目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することは概ねできている。 3二「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する。 (78.7/77.9)</p> <p>【話す・聞く能力】 ○質問の意図を捉えることに課題がある。 1二 スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選ぶ。(42.7/51.1)</p>	<p>【書く能力】 ○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することに課題がある。 1三 スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く。 (37.1/50.4)</p> <p>○目的や意図に応じて、グラフを基に自分の考えを書くことに課題がある。 2二(1) 「早ね早起き」活動の課題について(図2)の結果を基に書く。(42.7/51.4) ○目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書くことに課題がある。 2二(2) 「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、(表2)の結果を基に書く。 (49.4/64.2)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	59.6	58.3		1.3
国語の勉強は大切だと思いますか	94.4	91.3		3.1
国語の授業の内容はよくわかりますか	79.8	80.7		0.9
読書は好きですか	65.2	74.6	◇	9.4
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.5	89.2	◇	6.3
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	56.1	67.2	○	10.9
国語の授業で意見などを発表するとき、上手く伝わるように話の組立を工夫していますか	50.6	62.3	○	11.7
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気をつけて書いていますか	77.6	74.0		3.6
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	60.7	78.1	◇	8.4
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか（「最後まで解答を書こうと努力した」の割合）	69.7	75.1		1.1

○「国語の勉強は好きですか」の設問について、全国に比べてもほぼ同じ割合になっているが、「国語の勉強は大切ですか」の設問については、本校児童の割合が上回っている。

「国語の勉強は好きですか」(H27 61.9)

「国語の勉強は大切ですか」(H27 91.7)

○「読書は好きですか」の設問に対して、肯定的な児童の割合が、ここ数年間全国を下回っており、昨年度に比べても低い数値となっている。(H27 65.4)

○「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の設問に関しては、全国に比べて6.3%高くなっており、また、昨年度に比べてもかなり割合が高くなっており、国語の学習の重要性に対する意識を高めることが出来た。(H27 79.7)

○「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」「国語の授業で意見などを発表するとき、上手く伝わるように話の組立を工夫していますか」の設問については全国よりかなり下回っている。今後は、「自分の考えをまとめる力」「発表する力」をつけていく必要がある。

○「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか」の設問については、昨年度より数値が低下している。(H27 70.3)

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層が少なく、下位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 73.5／泉佐野市 75.0／大阪府 76.9／全国 77.6）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国に比べると上位層・下位層が少なく、中位層がやや広く分布している。

平均正答率（本校 46.1／泉佐野市 44.0／大阪府 45.8／全国 47.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○除法における計算の確かめ方法を理解することは概ねできている。</p> <p>1 (3) 小数の除法の結果を、乗法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く。 (84.3/87.9)</p> <p>○繰り下がりのある減法の計算をすることが概ねできている。</p> <p>2 (1) 905－8 (89.9/90.9)</p> <p>○乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし、約分することに課題がある。</p> <p>2 (4) $(2/9) \times 3$ を計算する (75.3/87.0)</p> <p>○数の大小関係を理解することに課題がある。</p> <p>3 (2) 7.1, 7, 7.01の中で一番小さい数と、一番大きい数を書く。 (64.1/74.1)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○三角形の底辺と高さの関係については概ね理解できている。</p> <p>5 三角形の底辺に対応する高さを選ぶ。 (82.0/82.0)</p>	<p>【図形】</p> <p>○図形の構成要素に着目して、図形を構成することに課題がある。</p> <p>6 4枚の三角定規でつくることのできる形を選ぶ。 (71.9/79.6)</p> <p>○直方体における面と面の位置関係を理解することに課題がある。</p> <p>7 直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ。 (66.3/78.0)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことに課題がある。</p> <p>9 (1) 前に10人、後ろに19人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く。 (73.0/80.2)</p> <p>○1を超える割合を百分率で表す場面において基準量と比較量の関係を理解することに課題がある。</p> <p>9 (2) 定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く。 (44.9/50.9)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることは概ねできている。</p> <p>1 (1) 1辺が9cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして、ふさわしい数値の組み合わせを書く。 (91.0/92.6)</p> <p>○示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述することに課題がある。</p> <p>2 (3) 目標タイムを求める式の中の0.4や0.3が表す意味を書く。 (10.1/15.6)</p> <p>○縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を書くことに課題がある。</p> <p>3 (2) 縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から1辺9cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く。 (38.2/38.4)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○示された除法の式を並べてできた形と関連付け</p>	<p>角の大きさを基に、式の意味の説明を記述することに課題がある。</p> <p>5 (1) 示された形を作ることができることを説明する式の意味を数や演算の表す内容に着目して書く。 (7.9/6.9)</p> <p>【図形】</p> <p>○正方形に内接する円の半径については、概ね理解している。</p> <p>3 (3) 1辺が9cmの正方形に内接する円をかくためにコンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ。 (79.8/76.5)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○グラフから貸出し冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述することに課題がある。</p> <p>4 (3) A小学校とB小学校の図書委員長が表したグラフを見比べて読み取った事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く。 (20.2/24.9)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか。	68.5	66.0		2.5
算数の勉強は大切だと思いますか。	96.5	91.9		4.7
算数の授業の内容はよくわかりますか。	82.0	80.2		1.8
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか。	74.1	75.8		1.7
算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。	79.8	81.0		1.2
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	61.8	67.4	◇	5.6
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	95.5	89.9	◇	5.6
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	74.1	80.5	◇	6.4
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。	80.9	80.8		0.1
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか。	74.2	84.8	○	10.6
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。 (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	71.9	72.0		3.4

○「算数の勉強は大切だと思いますか」「算数の授業の内容はよくわかりますか」の設問については、全国と比べても高くなっている。

○「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」の設問は、昨年度よりも高く、また、全国と比べても高いことは算数科の必要性を踏まえた授業づくりの成果がうかがえる。

(H27 84.5)

○「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか。」の設問は、昨年度よりも低く、また、全国と比べても低いことが課題である。

(H27 79.8)

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校 回答率 / 全国 回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>○家庭生活では朝食の摂取率や就寝時間等、規則正しい生活習慣がおおよそ身についている。</p> <p>○テレビ等の視聴、ゲームや携帯電話の操作に費やす時間が国に比べて若干多い。</p> <p>○地域行事への参加率は全国に比べて低くボランティア等の参加率も低い。</p>	<p>○自分には良いところがあると思いますか <68.5/76.3></p> <p>○家のお手伝いをしていますか <74.1/82.8></p> <p>○普段（月～金）1日どれくらいの時間携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか 2時間以上 <9.0/5.8></p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか <58.5/67.9></p> <p>○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか <47.2/60.7></p>
【家庭学習の様子】	<p>○家庭学習については、2時間以上学習する児童の割合が国を上回っているが、予習・復習をする児童の割合が全国に比べて低い。（宿題と塾の勉強以外の自主的な勉強時間が少ない）</p> <p>○読書時間が全国より少ない。</p>	<p>○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか <52.8/62.2></p> <p>○学校の授業以外に普段（月～金）、1日にどれくらいの時間勉強しますか（学習塾や家庭教師も含む） 2時間以上 <44.9/25.5> 30分より少ない <3.3/11.9></p> <p>○家で、学校の授業の予習をしていますか <28.1/43.3></p> <p>○家で、学校の授業の復習をしていますか <40.5/55.2></p> <p>○1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか（漫画雑誌は除く） 1時間以上 <10.1/16.7></p>
【学校での生活や学習の様子】	<p>○「総合的な学習の時間」については、課題解決や発表等の活動に取り組んでいる割合が昨年よりも改善がされている。（H27 54.8）しかし、自分の考えを説明したり、書いたりすることを難しいと感じている児童が多い。</p> <p>○学校のきまりを守るという気持ちが全国より低い。</p>	<p>○「総合的な学習の時間」は好きですか <87.7/77.2></p> <p>○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <70.0/65.4></p> <p>○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか <77.5/60.4></p> <p>○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか <60.6/54.8></p> <p>○学校のきまりを守っていますか <71.9/91.5></p> <p>○人が困っているときは、進んで助けていますか <78.7/84.6></p>

本校の取組み

◎これまでの取組み

これまで本校では、児童の学力実態を踏まえ、「自分の考えを持ち、伝え合うコミュニケーション能力の育成」を研究主題として、研究授業や公開授業等、職員の研修に取り組んできました。

また、朝学習や家庭学習を通じて、漢字や四則計算などの基礎的な学力を身につけさせることに取り組んできました。特に算数のつまずきやすい単元では、3年生から6年生において、習熟度分割授業を展開するほか、放課後のまなびんぐサポート事業を活用して、3年生の希望者を対象に算数の補充授業を実施しています。

さらに、「自分にはよいところがある」と思っていない児童が3割以上もおり、自尊感情や自己有用感が低い実態を考え、地域の福祉委員会と連携した「高齢者友愛訪問活動」や「児童会が中心となり、児童の自主性を高める活動」を推進し、敬老の気持ちやボランティア精神を涵養しています。そして、自分は誰かの役に立っている大切な存在なのだという思いを持ってほしいと願っています。そのほかにも「良いところ見つけ」などの活動を通じて、自尊感情の高揚に努めています。

◎これからの取組み

本校では、平成28年度全国学力・学習状況調査の分析結果を基に、主に次に示すような点を中心に課題克服に向けて取り組んでいきたいと考えます。

①授業改善に向けた取組みについて

授業改善については、従来から取り組んでいるところですが、特に今回、児童質問用紙の「学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思いますか。」という設問に対する肯定的な回答が、国語、算数ともに、全国よりも高い数値になりました。(H27 国語(79.7)H28(95.5), H27 算数(84.5)H28(95.5)これは、授業の中に勉強の必要性を加味した授業展開を実施した成果だと考えます。

今後も、学習と身近な生活とを関連付けながら、キャリア教育（職業観、勤労観の育成等、将来を見据えた教育）を視野に入れ、児童に対して指導していきます。また、職員の指導力向上のため、校内・校外の研修にもより積極的に取り組み、わかりやすく楽しい授業づくり・授業改善に努めていきます。

総合的な学習の時間の取組みと平均正答率との相関関係が指摘されています。そこで、本校では、生活科や総合的な学習の時間を活用して、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する学習にも、これまで以上に取組みを充実させていきます。

これまでも実践していた3～6年生の算数における習熟度別分割授業については今後も継続し、また、授業規律の徹底についても、研究部を中心に、全校統ルールを徹底していきます。

②朝学習の時間等を活用した基礎・基本の徹底について

本年度は、朝学習の時間は、外国語活動（英語）を中心に行っているため、国語・算数については、週1回の実施となりました。今後は、朝学習の時間配分等を見直し、漢字の読み書きや四則計算において、より一層の効果的な取り組みを推進し、児童の集中力のスイッチを入れていけるよう努めていきます。

③家庭学習の推進について

本校の児童は、宿題については、よく取り組んでいるものの、学校の授業の予習(H27.55.9)(H28.28.1)や復習(H27.61.9)(H28.40.5)をする児童の割合が全国より、低いことが明らかになりました。自学自習の力がしっかりと身につけているかどうか、児童が将来自らの進路を切り開いていく上で、大切な要素となることから、今後、家庭と連携しながら、家庭学習を推進し、主体的に学習に臨むことのできる児童の育成を目指します。そのため今年度も、具体的な手立てとして、「宿題ばっちりウィーク」を実施し、家庭での宿題や自主学習について家庭の協力を得ながら家庭学習の充実にも努めていきたいと考えています。

以上、「授業改善」「基礎・基本の徹底」「家庭学習の推進」という三つの柱を本校の学力向上に向けた方策の中心に据え、今後とも研鑽を重ねてまいります。